

# 滝沢市役所周辺土地利用 アンケート調査報告書

---

2016年1月27日

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、平成 26 年 1 月に市制に移行し、「滝沢市都市計画マスタープラン」を全面改訂したことに伴い、滝沢市に求められる機能や施設を市民から調査し、滝沢市の中心を担う拠点の形成及び新たな将来の都市づくりの指針における基礎資料とする。

### (2) 調査対象

滝沢市市民 1,200 名

### (3) 調査時期

平成 27 年 12 月 16 日（水）～12 月 30 日（水）

### (4) 調査方法

郵送調査法

### (5) 調査内容

性別、年代、職業、居住地区

滝沢市の中心を担い拠点として必要な機能とその具体的施設・種類

滝沢市の将来の都市づくりに関してのご意見

※別添調査票をご参照ください

### (6) 回収状況

回収数 493 票 回収率 41.1%

地区別回収数

	総計	① 小岩井	② 大釜	③ 篠木	④ 大沢	⑤ 鶉飼	⑥ 姥屋敷	⑦ 元村	⑧ 室小路	⑨ 根巣・子川・前長	⑩ 一本木	⑪ 柳沢	不明
回収数	493	19	19	9	6	122	2	144	23	115	18	14	2
	100.0%	3.9%	3.9%	1.8%	1.2%	24.7%	0.4%	29.2%	4.7%	23.3%	3.7%	2.8%	0.4%

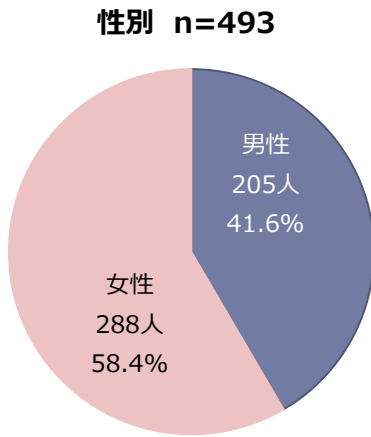
#### 報告書の味方

- ・ 調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・ 回答の構成比は百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。  
そのため、表記比率の合計と合計比率が異なる場合がある。
- ・ 回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の設問においては、すべての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・ 調査票における設問および選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・ 年代の 20 代には「19 歳以下」を含む、70 代は「70 歳以上」である。
- ・ お住まいの地区の「巣子・長根・川前」は「巣子」で表す。

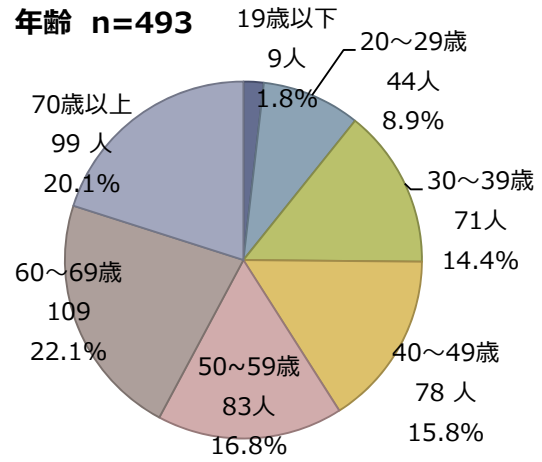
## 2. 調査結果

### 問1. あなたご自身についてお伺いします。

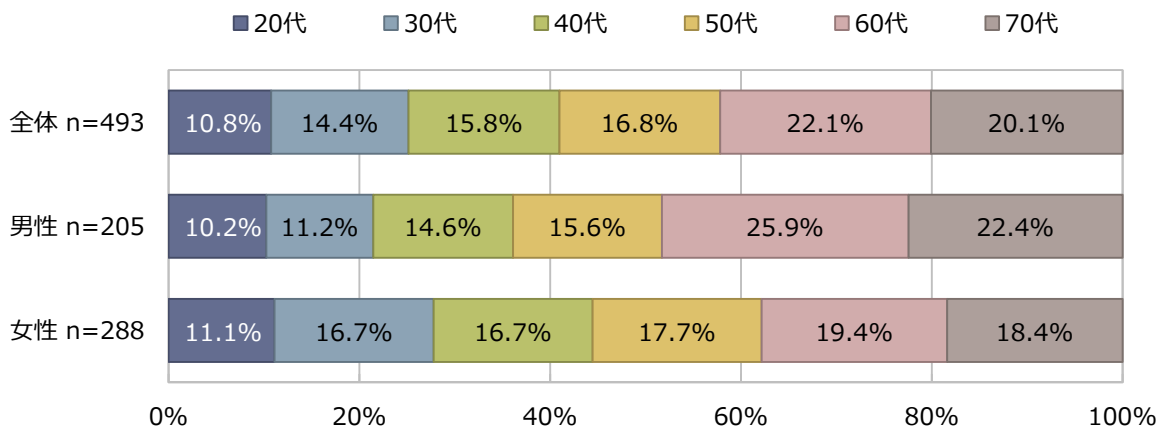
#### (1) 性別



#### (2) 年齢

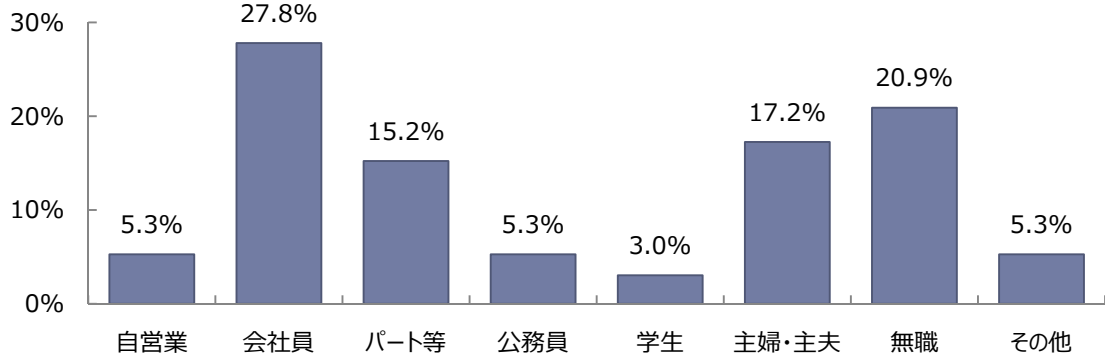


#### 性別・年代構成

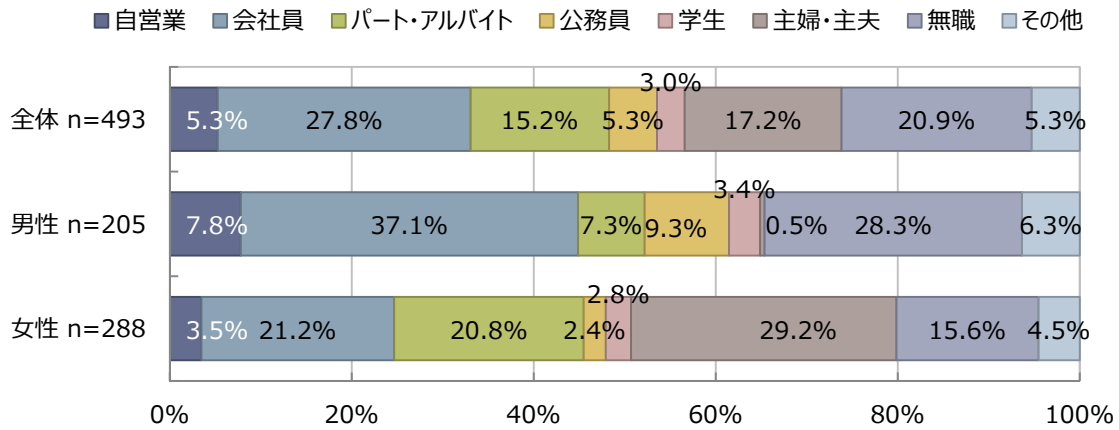


(3) 職業

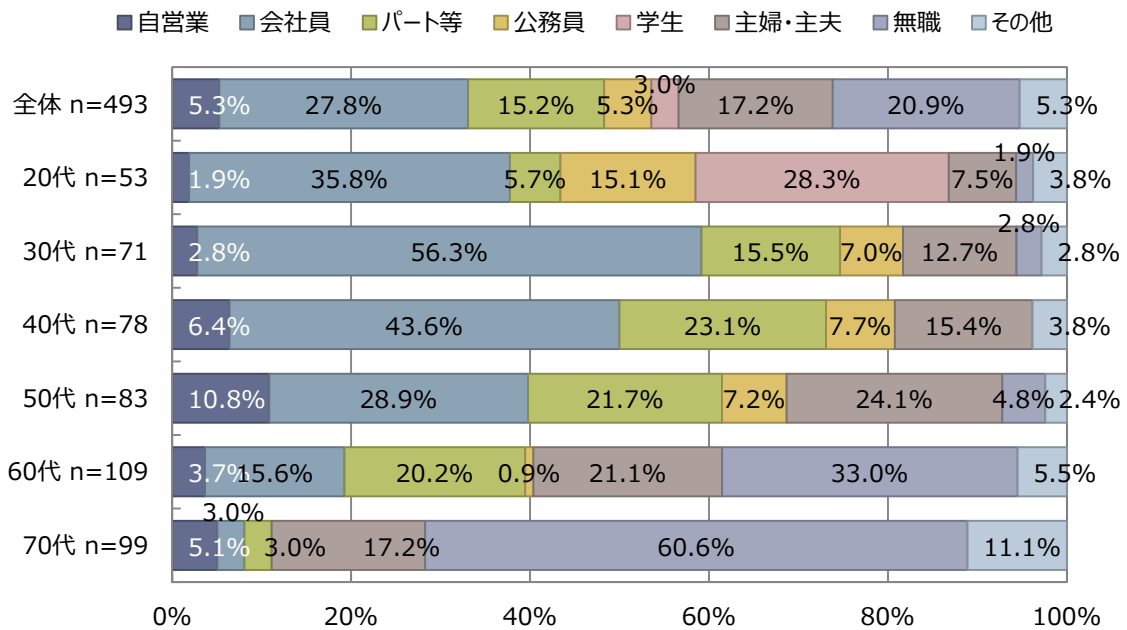
職業 n=493



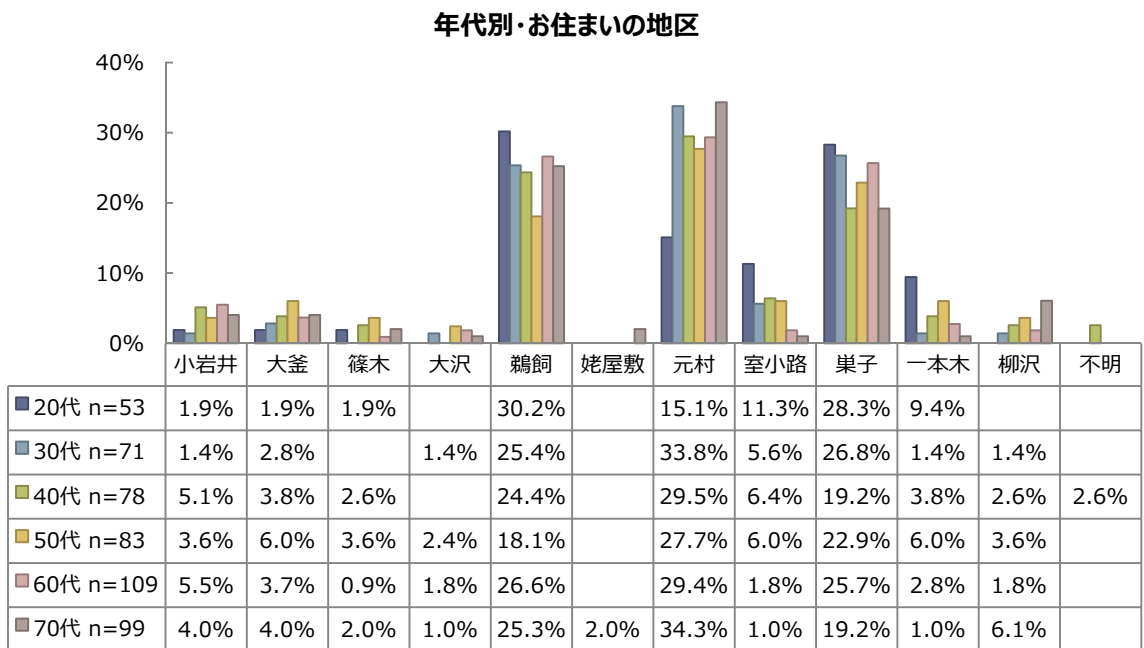
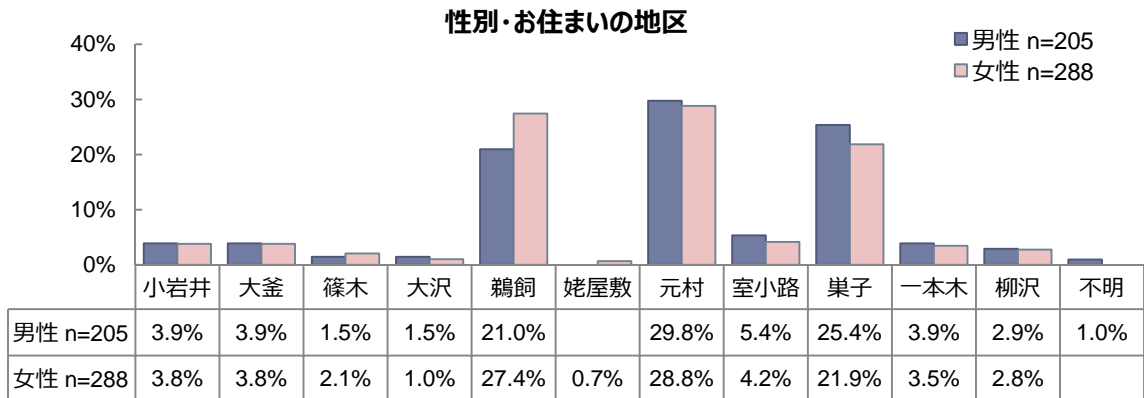
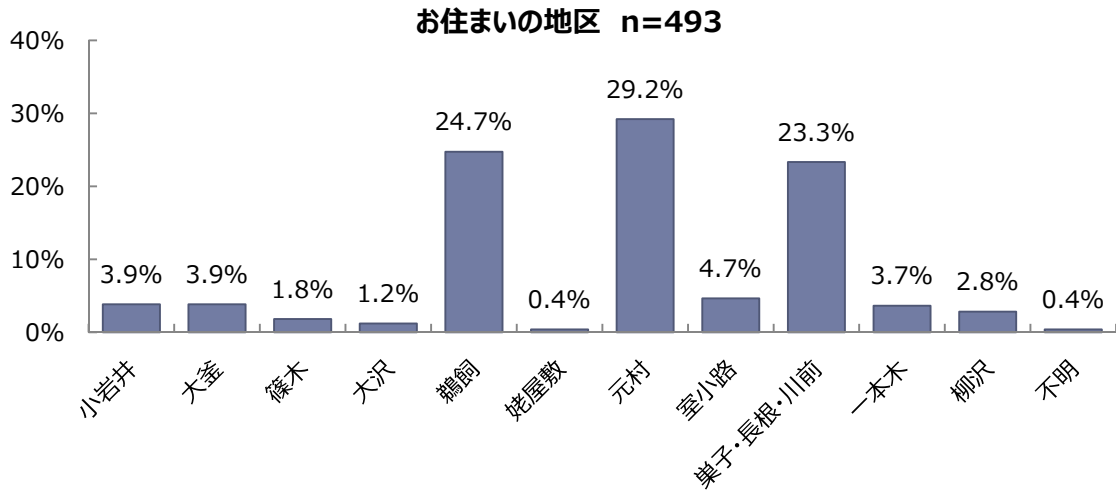
性別・職業



年代別・職業

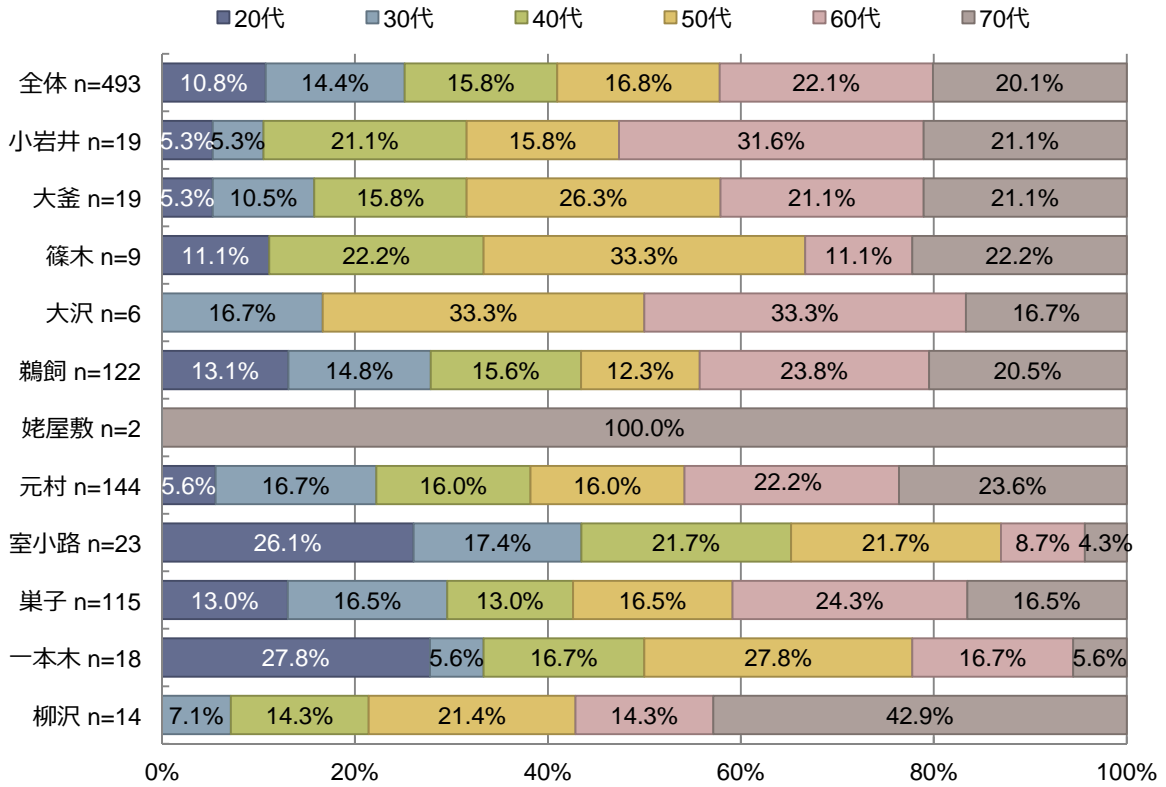


(4) お住まいの地区

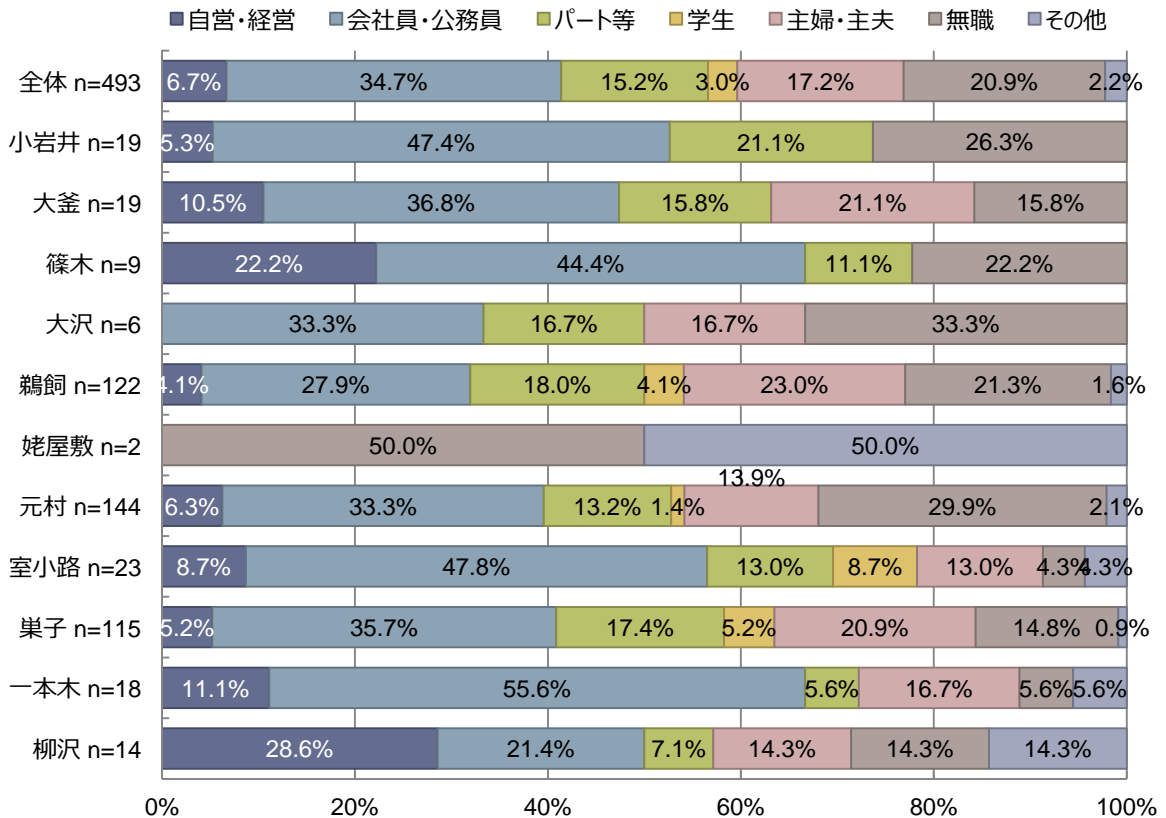


※巣子=巣子・長根・川前 20代=19歳以下を含む 70代=70歳以上

お住まいの地区別・年齢



お住まいの地区別・職業



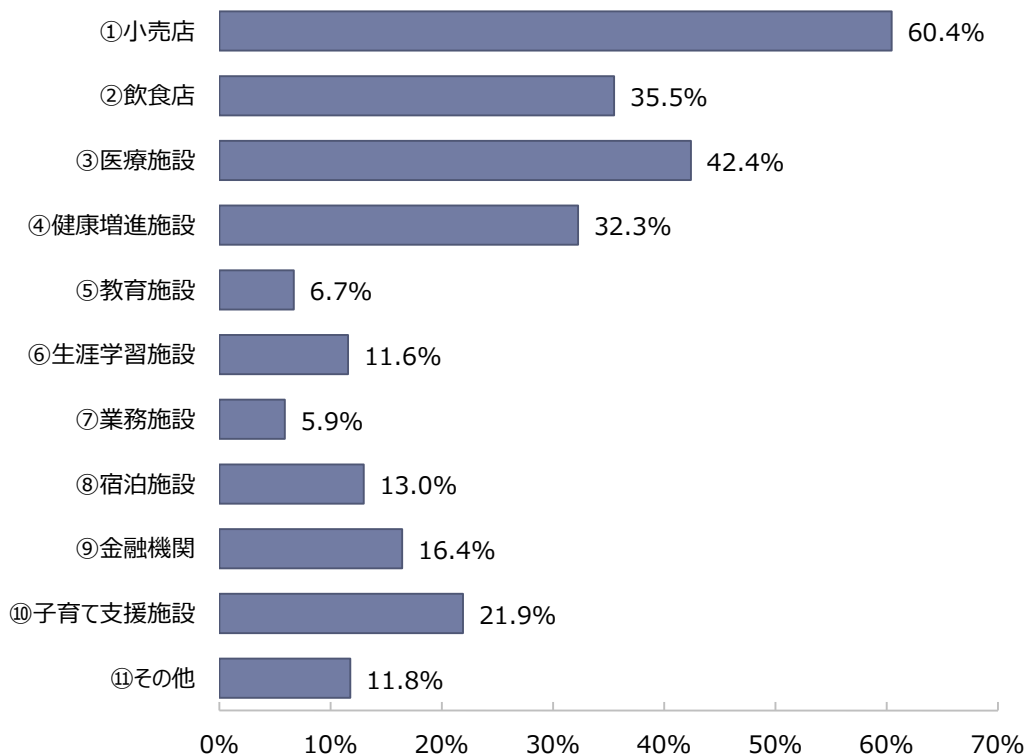
**問 2. 滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能は？**

- ①ショッピングセンターなどの小売店舗
- ②食堂や居酒屋などの飲食店
- ③病院や診療所などの医療施設
- ④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設
- ⑤学習塾や英語塾などの教育施設
- ⑥各種教室施設（華道・茶道・ピアノ等）など民間が運営する生涯学習施設
- ⑦貸事務所などの業務施設（工場、作業所を除く）
- ⑧ホテルなどの宿泊施設
- ⑨銀行などの金融機関
- ⑩託児所などの子育て支援施設（認可保育園や幼稚園を除く）
- ⑪その他

**(1) 全体傾向**

- 滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能は、「①ショッピングセンターなどの小売店舗」60.4%がトップで、「③病院や診療所などの医療施設」42.4%、「②食堂や居酒屋などの飲食店」35.5%、「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」32.3%が上位。その他では「アミューズメント施設」、「道の駅や産直センター」、「バスターミナル」、「図書館」、「映画館」などがある。

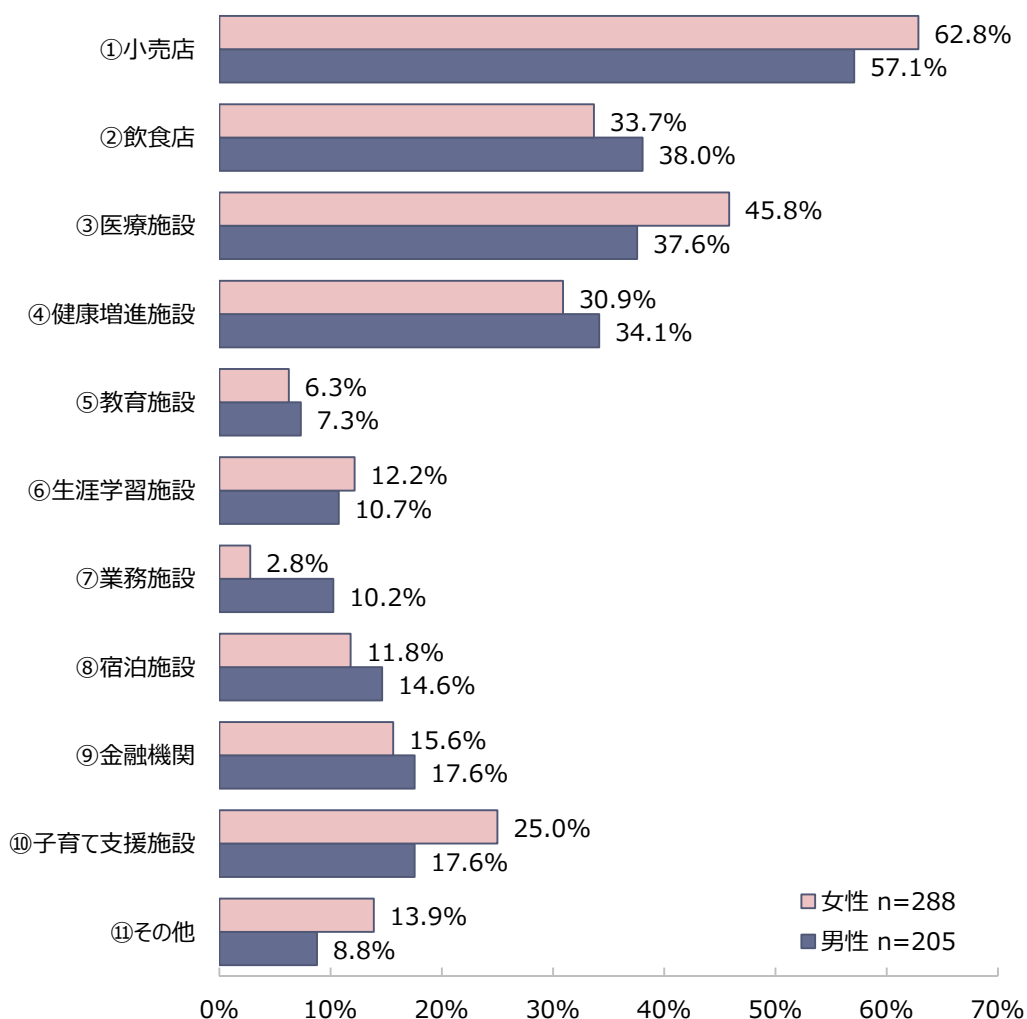
**滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能 n=465**



## (2) 性別傾向

- 性別にみると、男女とも「①ショッピングセンターなどの小売店舗」がトップで、男性 57.1% に対し、女性は 62.8%と高い。
- 次に、男性は「②食堂や居酒屋などの飲食店」38.0%、「③病院や診療所などの医療施設」37.6%、が続くが、女性は「③病院や診療所などの医療施設」45.8%、「②食堂や居酒屋などの飲食店」33.7%が続く。女性は男性に比べ医療施設が、男性は女性に比べ飲食店が高い。
- 男性は女性に比べ「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」、「⑦貸事務所などの業務施設」、「⑧ホテルなどの宿泊施設」、「⑨銀行などの金融機関」が高い。女性は男性に比べ、「⑥各種教室施設など民間が運営する生涯学習施設」、「⑩託児所などの子育て支援施設」が高い。
- 「その他」では男性は「老人用施設」や「道の駅・産直」、女性は「カラオケやボーリングなどの娯楽施設」、「図書館」「児童館や子供が遊べる場所」、「産直センター」などの回答がある。

性別・滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能

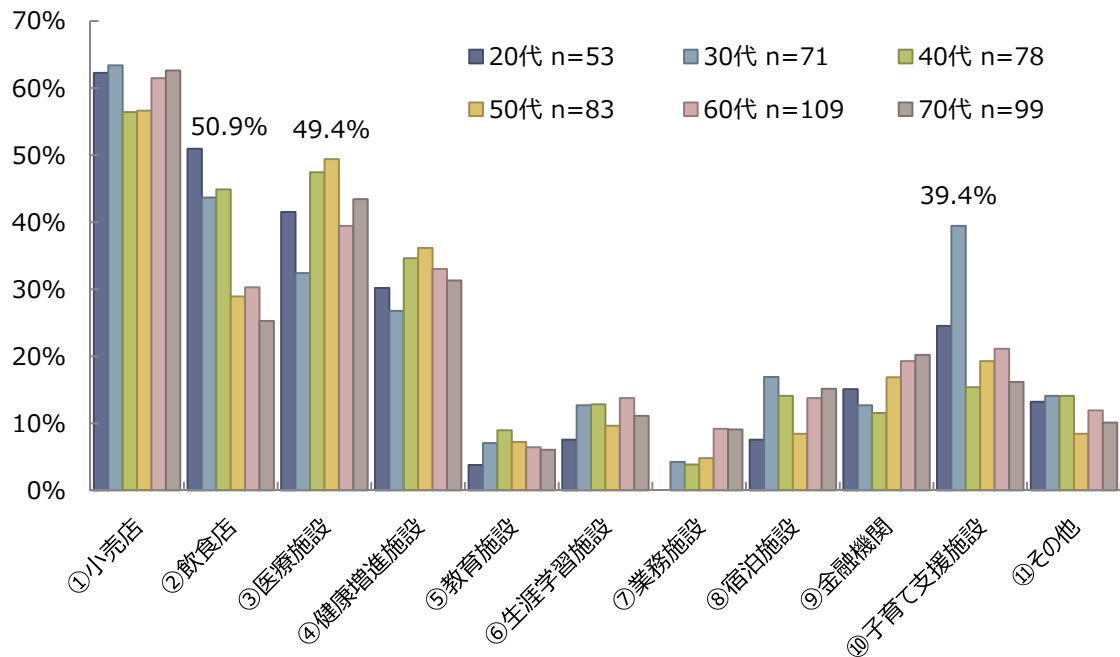




### (3) 年代別傾向

- 年代別にみると、どの年代も「①ショッピングセンターなどの小売店舗」が60%前後でトップ。30代63.4%>70代62.6%>20代62.3%>60代61.5%>50代56.6%>40代56.4%の順。
- 20代（19歳以下を含む）は2位「②食堂や居酒屋などの飲食店」50.9%、3位「③病院や診療所などの医療施設」41.5%が続き、飲食店は他の年代に比べ非常に高い。
- 30代は2位「②食堂や居酒屋などの飲食店」43.7%、3位「⑩託児所などの子育て支援施設」39.4%が続き、子育て支援施設は他の年代に比べ非常に高い。
- 40代は2位「③病院や診療所などの医療施設」47.4%、3位「②食堂や居酒屋などの飲食店」44.9%が続く。
- 50代・60代・70代以上は2位「③病院や診療所などの医療施設」（50代49.4%、60代39.4%、70代以上43.4%）「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」（50代36.1%、60代33.3%、70代以上31.3%）が続き、医療・健康関連の拠点の要望高い。医療施設は50代が年代別で最も高い。また60代以上は「⑨銀行などの金融機関」も高い。

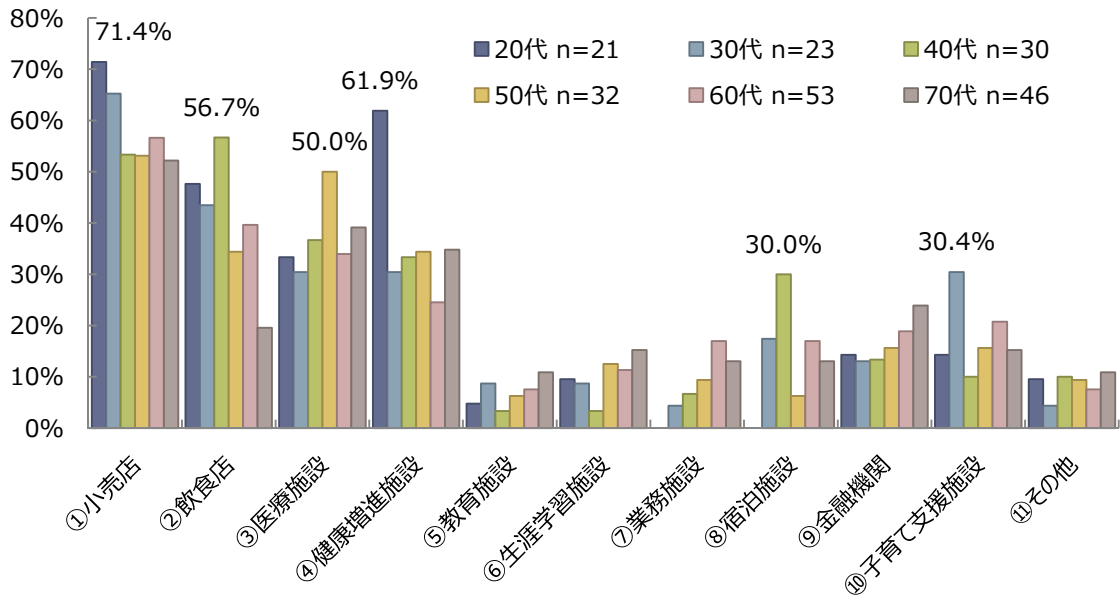
年代別・滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能



- 「①ショッピングセンターなどの小売店舗」は、男性は20代71.4%、30代65.2%、女性は70代以上71.7%、女性60代66.1%が特に高く、男性は若い世代、女性は年配者が高い。
- 「②食堂や居酒屋などの飲食店」は、男女とも20~40代が高く、男性は40代56.7%>20代47.6%>30代43.5%、女性は20代53.2%>30代43.8%>40代37.5%の順である。
- 「③病院や診療所などの医療施設」は男性50代50.0%、女性40代54.2%、女性50代49.0%が特に高い。「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」は男性20代61.9%が圧倒的に高く、女性では60代41.1%で高い傾向がみられる。若い世代と年配者では健康に対する意識が違うことが考えられ、世代のニーズに合った機能を備えることが重要である。

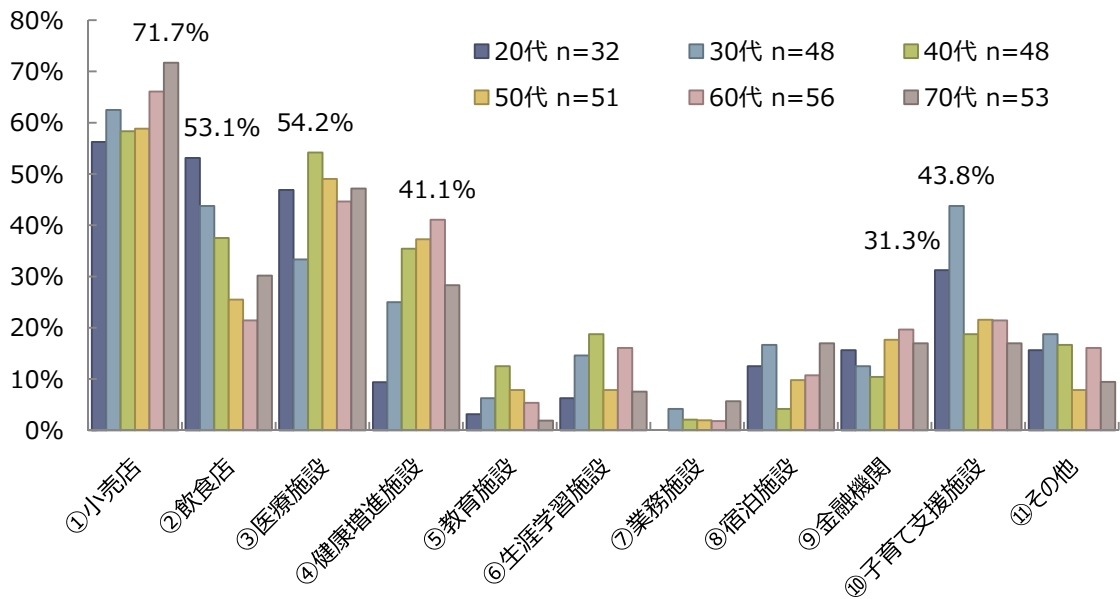
(3-1) 男性・年代別

男性年代別・滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能



(3-2) 女性・年代別

女性年代別・滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能



#### (4) 地区別傾向

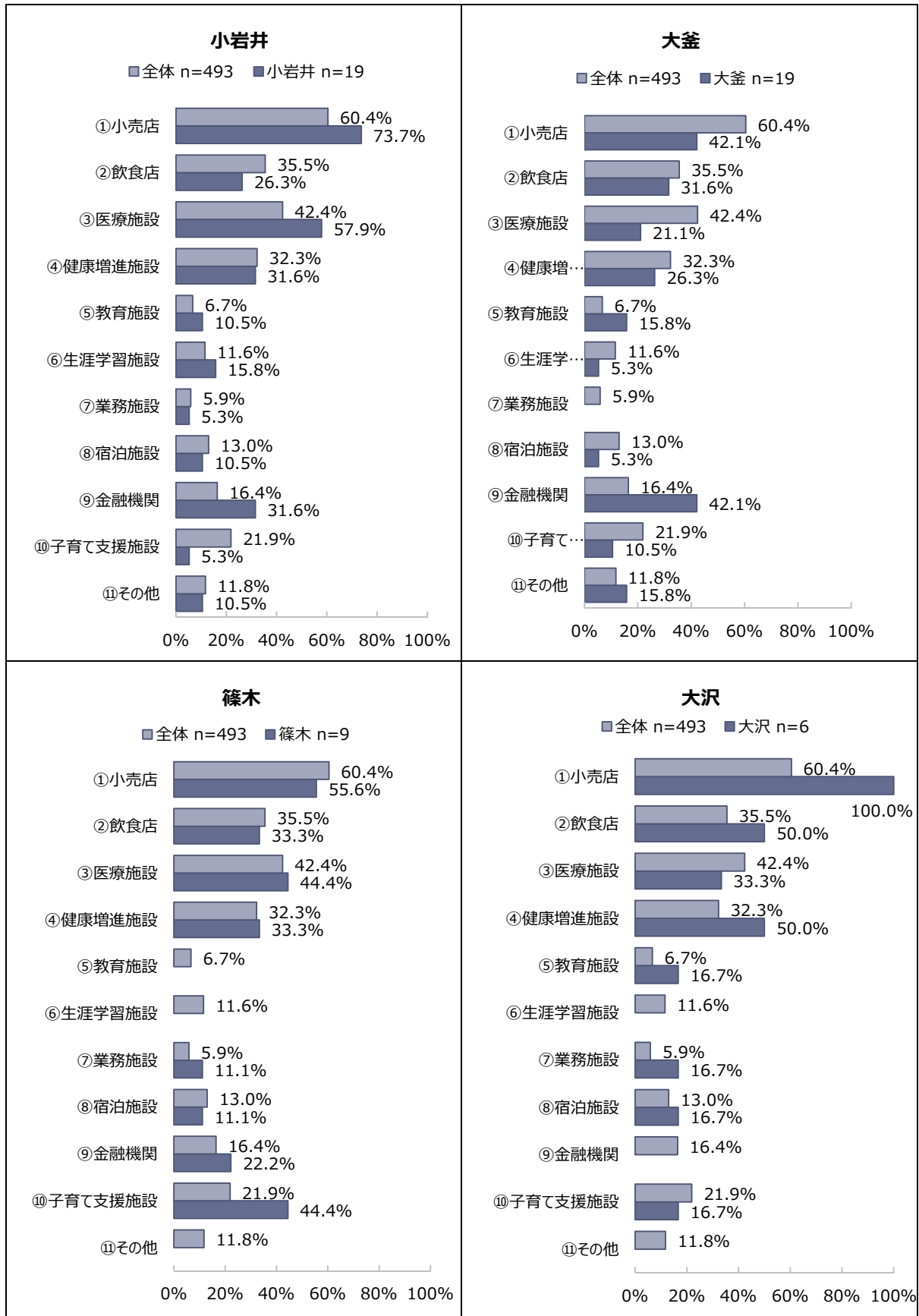
- 下記の表は、「滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能」を地区別に見たものである。
- どの地区も「①ショッピングセンターなどの小売店舗」が50%以上でトップ。  
特に大沢 100.0%、小岩井 73.7%、一本木 72.2%が高い。  
単に商業施設を作るだけでなく、市街地から離れた地域への移動販売等を行える機能も備えた流通整備が必要と考えられる。
- 「②食堂や居酒屋などの飲食店」は大沢、姥屋敷各 50.0%、鶺鴒 45.1%、「③病院や診療所などの医療施設」は、小岩井 57.9%、姥屋敷、柳沢各 50.0%、巢子・長根・川前 48.7%、室小路 47.8%、「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」は大沢 50.0%、元村 38.9%が高い。
- 人数の多い、鶺鴒 (n=122)、元村 (n=144)、巢子・長根・川前 (n=115) の上位を見ると、鶺鴒では「①ショッピングセンターなどの小売店舗」65.6%がトップで、「②食堂や居酒屋などの飲食店」45.1%、「③病院や診療所などの医療施設」34.4%、「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」31.1%続く。  
元村では「①ショッピングセンターなどの小売店舗」59.0%がトップで、「②病院や診療所などの医療施設」43.8%、「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」38.9%、「②食堂や居酒屋などの飲食店」35.4%が続く。  
巢子・長根・川前では「①ショッピングセンターなどの小売店舗」58.3%がトップで、「③病院や診療所などの医療施設」48.7%、「②食堂や居酒屋などの飲食店」31.3%、「④スポーツジムや小規模な屋内運動施設など健康増進施設」29.6%が続く。
- 母数は少ないが。大沢、姥屋敷、室小路では「⑦貸事務所などの業務施設」、柳沢では「⑧ホテルなどの宿泊施設」、小岩井、大釜、姥屋敷では「⑨銀行などの金融機関」、篠木、姥屋敷、柳沢では「⑩託児所などの子育て支援施設」が全体値よりも10%以上高い。

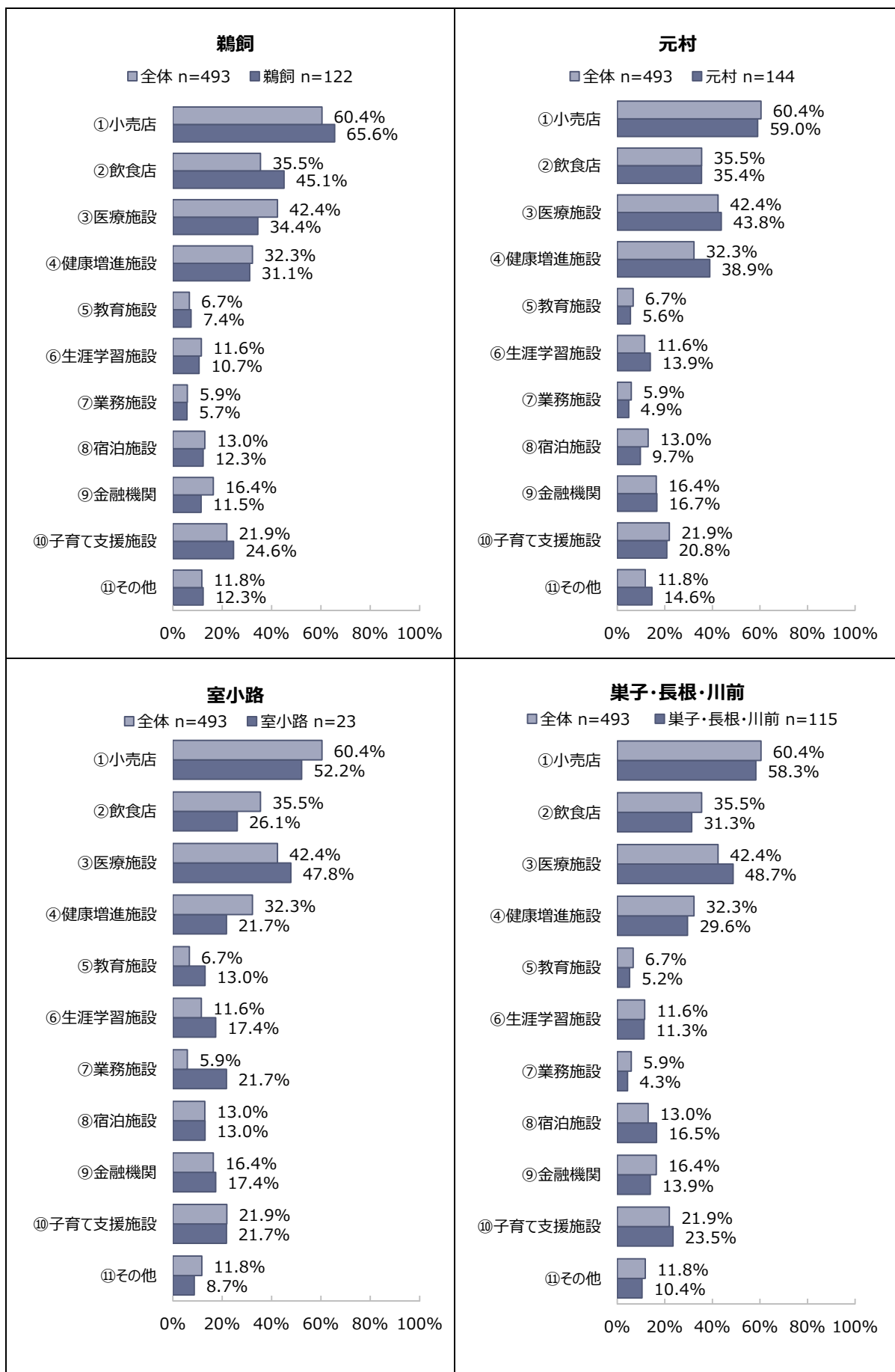
滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能

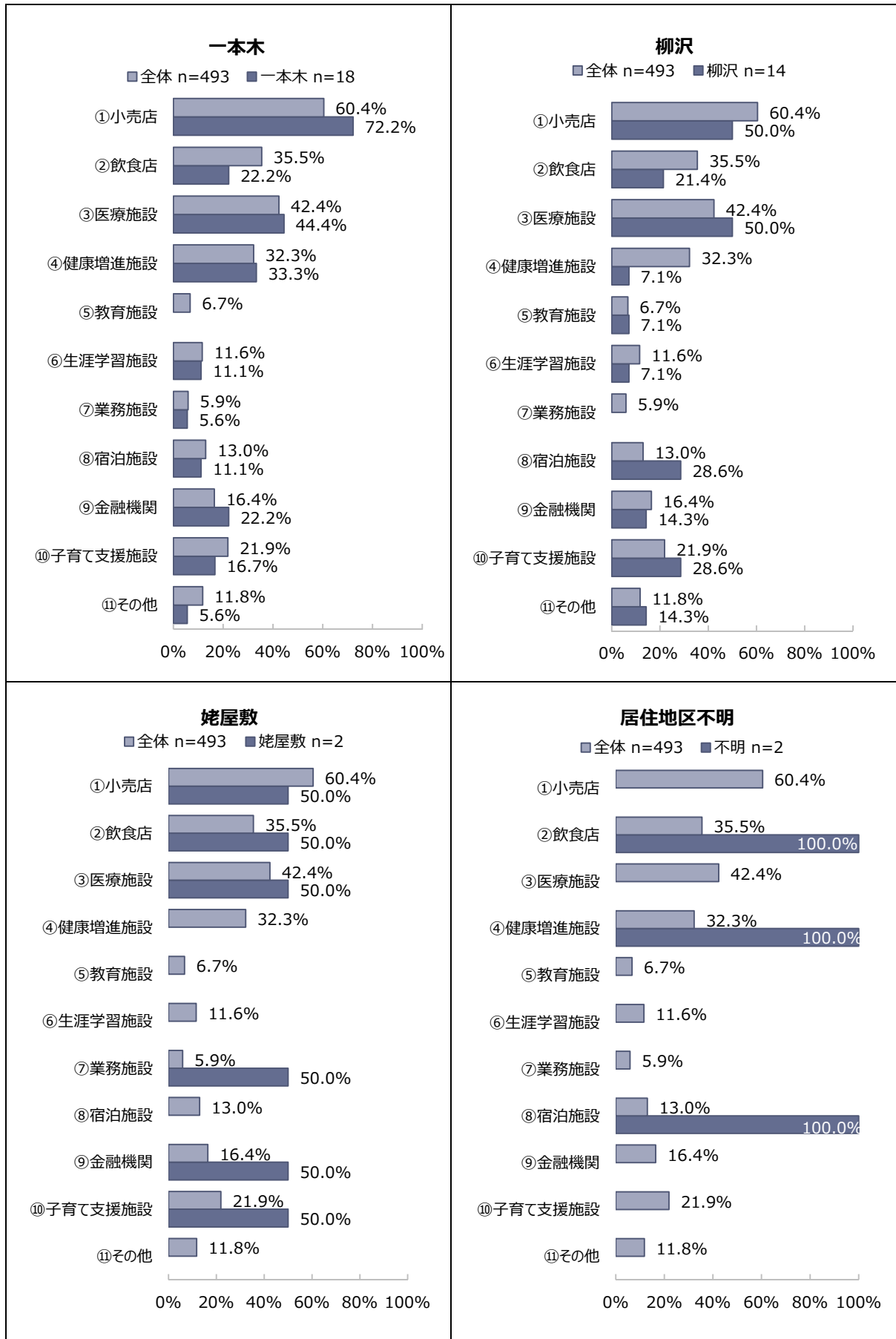
地区	n=	① 小 売 店	② 飲 食 店	③ 医 療 施 設	④ 健 康 増 進 施 設	⑤ 教 育 施 設	⑥ 生 涯 学 習 施 設	⑦ 業 務 施 設	⑧ 宿 泊 施 設	⑨ 金 融 機 関	⑩ 子 育 支 援 施 設	⑪ そ の 他
全体	493	60.4%	35.5%	42.4%	32.3%	6.7%	11.6%	5.9%	13.0%	16.4%	21.9%	11.8%
小岩井	19	<b>73.7%</b>	26.3%	<b>57.9%</b>	<b>31.6%</b>	10.5%	15.8%	5.3%	10.5%	<b>31.6%</b>	5.3%	10.5%
大釜	19	42.1%	<b>31.6%</b>	21.1%	26.3%	15.8%	5.3%		5.3%	<b>42.1%</b>	10.5%	15.8%
篠木	9	<b>55.6%</b>	33.3%	<b>44.4%</b>	33.3%			11.1%	11.1%	22.2%	<b>44.4%</b>	
大沢	6	<b>100.0%</b>	<b>50.0%</b>	33.3%	<b>50.0%</b>	16.7%		<b>16.7%</b>	16.7%		16.7%	
鶺鴒	122	<b>65.6%</b>	<b>45.1%</b>	<b>34.4%</b>	31.1%	7.4%	10.7%	5.7%	12.3%	11.5%	24.6%	12.3%
姥屋敷	2	<b>50.0%</b>	<b>50.0%</b>	<b>50.0%</b>				<b>50.0%</b>		<b>50.0%</b>	<b>50.0%</b>	
元村	144	<b>59.0%</b>	35.4%	<b>43.8%</b>	<b>38.9%</b>	5.6%	13.9%	4.9%	9.7%	16.7%	20.8%	14.6%
室小路	23	<b>52.2%</b>	<b>26.1%</b>	<b>47.8%</b>	21.7%	13.0%	17.4%	<b>21.7%</b>	13.0%	17.4%	21.7%	8.7%
巢子	115	<b>58.3%</b>	<b>31.3%</b>	<b>48.7%</b>	29.6%	5.2%	11.3%	4.3%	16.5%	13.9%	23.5%	10.4%
一本木	18	<b>72.2%</b>	22.2%	<b>44.4%</b>	<b>33.3%</b>		11.1%	5.6%	11.1%	22.2%	16.7%	5.6%
柳沢	14	<b>50.0%</b>	21.4%	<b>50.0%</b>	7.1%	7.1%	7.1%		<b>28.6%</b>	14.3%	<b>28.6%</b>	14.3%

※赤字は各地区の必要とする機能のトップ3、太字は全体値より10%以上高い値

地区別・滝沢市の中心を担う拠点として必要な機能







**問3 2で回答した項目で具体的な施設や種類があれば、記入例を参考にお書きください。**

※記述詳細並びに地区別の詳細は【集計表】をご参照ください。

**(1) ショッピングセンターなどの小売店舗**

- 「ショッピングセンターなどの小売店舗」には 208 名から具体的記述があり、“イオンのような大型ショッピングセンター”や”ひとつのところでなんでも揃う施設”など「ショッピングセンター」の回答が 141 名 (67.8%) でトップ。「衣料品関連の店舗」27 名 (13.0%)、「産直」12 名 (5.8%)、「スーパーマーケット」10 名 (4.8%) が上位。
- 「ショッピングセンター」は性別、年齢に関係なくトップで、「ショッピングモール」や「アウトレットモール」「集合小売店舗」「複合商業施設」など各種店舗が 1 つのところに集約された複合型大型店舗を多くの方が記述している。
- 地区別では、小岩井、篠木、大沢、菓子・長根・川前では 70%以上の方が「ショッピングセンター」と回答している。
- 「衣料品店」は「子供服」「ファスト衣料品 (ユニクロや GU 等)」、「中高年向け衣料」など様々な年代向けの衣料品を購入できる店舗の記述がある。
- また、「産直」や「道の駅」といった地場産品が購入できる施設の回答もある。

**(2) 食堂や居酒屋などの飲食店**

- 「食堂や居酒屋などの飲食店」には 125 名から具体的記述があり、「居酒屋」、「ファストフード店」各 22 名 (17.6%) がトップで、「喫茶店」16 名 (12.8%)、「定食屋」「地産地消の店 (地場産品が食べられる店)」各 12 名 (9.6%)、「ファミリーレストラン」11 名 (8.8%) が上位。
- 男性は「居酒屋」、女性は「ファストフード店」がトップで、年代ではいずれも 30 代の要望が最も多い。「喫茶店」は 70 代以上が多い。
- 飲食店の形態ではなく、「24 時間営業店舗」「夜遅くまで営業している店舗」「ランチが食べられる店」のように営業時間に対する回答や「若者向け・家族向け飲食店」などターゲットを絞った飲食形態に対する回答もある。

**(3) 病院や診療所などの医療施設**

- 「病院や診療所などの医療施設」には 92 名から具体的記述があり、「総合病院」28 名 (30.4%) がトップで、いろいろな病院が 1 つのところに集まった「医療モール」8 名 (8.7%) が続き、「診療科目の多い病院」など総合的な診療ができる施設の回答が多い。また、「夜間・休日対応の病院」「救急病院」といった記述も多い。
- 「総合病院」の記述は、菓子・長根・川前で多い。
- 専門診療科目では、「耳鼻咽喉科」6 名がトップで、「産婦人科」が続く。

**(4) スポーツジムや小規模な屋内運動施設**

- 「スポーツジムや小規模な屋内運動施設」には 98 名から具体的記述があり、「スポーツジム」25 名 (25.5%) がトップで、「プール (温水プール・屋内プール)」17 名 (17.3%) が多い。「テニスコート」、「卓球場」、「ヨガスタジオ」「屋内運動施設」が続く。

- いずれも冬季も利用可能な屋内施設を希望している。
- 「高齢者用運動施設」や「リハビリ施設」など高齢者に特化した運動施設の回答もある。

#### (5) 学習塾や英語塾などの教育施設

- 「学習塾や英語塾などの教育施設」には 18 名から具体的記述があり、「塾」「英語塾」「学習塾」が上位。

#### (6) 各種教室施設など民間が運営する生涯学習施設

- 「各種教室施設など民間が運営する生涯学習施設」には、28 名から具体的記述があり、「ピアノ・音楽教室」「高齢者用教室」をはじめ、「ヨガ教室」「書道」「音楽教室」など多彩な回答がある。

#### (7) 貸事務所などの業務施設

- 「貸事務所などの業務施設」には 15 名から具体的記述があり、「レンタルオフィス」「複合オフィス街」「企業誘致」などの記述がある。

#### (8) ホテルなどの宿泊施設

- 「ホテルなどの宿泊施設」には 35 名から具体的記述があり、「ビジネスホテル」13 名がトップで、「合宿のできる宿泊施設」「宴会のできる施設」各 4 名が続き、結婚式や会議、法事といった宿泊以外でも利用できる施設の要望がある。
- 「ビジネスホテル」の要望は巣子・長根・川前が非常に多い。

#### (9) 銀行などの金融機関

- 「銀行などの金融機関」には 27 名から具体的記述があり、「県内銀行の支店」、「ATM コーナーの整備」、「郵便局」が上位。
- 「ATM コーナーの整備」では 1 か所にいくつもの金融機関の ATM が設置されていることを希望している。

#### (10) 託児室など子育て支援施設

- 「託児室など子育て支援施設」には 52 名から具体的記述があり、「託児施設充実」、「子供用遊園の整備」各 11 名（9.1%）がトップで、「支援センターの充実」が続く。
- 「病児保育」をはじめ「24 時間託児室」「休日対応施設」「夜間託児室」「一時託児室」など、保育園や幼稚園で対応しない時間帯に子供を預けられる施設の記述もある。

#### (11) その他

- その他には 45 名から具体的記述があり、「映画館」「産直センター」「老人用施設」「図書館」が上位。
- 「ガソリンスタンド」「バス発着所（バスターミナル）」「音楽スタジオ・ライブハウス」「コンサートホール」「貸農園」などもある。



**問4 滝沢市の将来の都市づくりに関してご意見などがあればご自由にお書きください。**

※記述詳細は集計表をご参照ください。

- 自由記述には286名(58.0%)から、意見、要望等が寄せられた。
- 「施設整備」に関する記述が84名でトップ。次に「政策（都市計画等）」56名、「街づくり」37名、「交通整備」33名、「道路整備」29名が続く。

区分	総計	性別		年代別					
		女性	男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
施設整備	84	50	34	8	<b>22</b>	10	8	19	17
	29.4%	29.8%	28.8%	30.8%	<b>48.9%</b>	21.3%	16.3%	28.8%	32.1%
政策	56	27	<b>29</b>	<b>7</b>	6	10	11	11	11
	19.6%	16.1%	<b>24.6%</b>	<b>26.9%</b>	13.3%	21.3%	22.4%	16.7%	20.8%
街づくり	37	18	19	2	3	<b>9</b>	<b>10</b>	7	6
	12.9%	10.7%	16.1%	7.7%	6.7%	<b>19.1%</b>	<b>20.4%</b>	10.6%	11.3%
交通整備	33	<b>26</b>	7	3	3	4	5	<b>10</b>	<b>8</b>
	11.5%	<b>15.5%</b>	5.9%	11.5%	6.7%	8.5%	10.2%	<b>15.2%</b>	<b>15.1%</b>
道路整備	29	19	10	1	5	4	4	9	6
	10.1%	11.3%	8.5%	3.8%	11.1%	8.5%	8.2%	13.6%	11.3%
自然・文化	9	5	4	2		<b>6</b>	1		
	3.1%	3.0%	3.4%	7.7%		<b>12.8%</b>	2.0%		
子育て支援	7	4	3	1	2		2	2	
	2.4%	2.4%	2.5%	3.8%	4.4%		4.1%	3.0%	
その他	31	19	12	2	4	4	8	8	5
	10.8%	11.3%	10.2%	7.7%	8.9%	8.5%	16.3%	12.1%	9.4%
<b>総計</b>	<b>286</b>	<b>168</b>	<b>118</b>	<b>26</b>	<b>45</b>	<b>47</b>	<b>49</b>	<b>66</b>	<b>53</b>

区分	小岩井	大釜	篠木	大沢	鶴飼	姥屋敷	元村	室小路	巣子	一本木	柳沢
施設整備	4	3	2	1	20		23	2	25	<b>3</b>	1
	30.8%	30.0%	28.6%	33.3%	29.9%		30.3%	16.7%	32.9%	<b>33.3%</b>	11.1%
政策	3	2		1	19		10	1	13	2	<b>4</b>
	23.1%	20.0%		33.3%	28.4%		13.2%	8.3%	17.1%	22.2%	<b>44.4%</b>
街づくり	1		1		7		12	1	11	<b>2</b>	1
	7.7%		14.3%		10.4%		15.8%	8.3%	14.5%	<b>22.2%</b>	11.1%
交通整備	1	<b>4</b>	1	1	2		10	1	12	1	
	7.7%	<b>40.0%</b>	14.3%	33.3%	3.0%		13.2%	8.3%	15.8%	11.1%	
道路整備	2	1	<b>2</b>		8		<b>12</b>		4		
	15.4%	10.0%	<b>28.6%</b>		11.9%		<b>15.8%</b>		5.3%		
自然・文化	1				2		2	<b>3</b>	1		
	7.7%				3.0%		2.6%	<b>25.0%</b>	1.3%		
子育て支援	1				1			<b>2</b>	2		1
	7.7%				1.5%			<b>16.7%</b>	2.6%		11.1%
その他			1		8	2	7	2	8	1	2
			14.3%		11.9%	100.0%	9.2%	16.7%	10.5%	11.1%	22.2%
<b>総計</b>	<b>13</b>	<b>10</b>	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>67</b>	<b>2</b>	<b>76</b>	<b>12</b>	<b>76</b>	<b>9</b>	<b>9</b>

## 滝沢市役所周辺土地利用アンケート調査\_市民アンケート

- 「施設整備」では、「複合施設」、「公園整備」、「高齢者施設整備」が上位で、「図書館」、「宿泊施設」、「屋内・温水プール」、「医療施設」、「商業施設」の整備も要望が多い。
- 施設整備を行う際には、後述の「交通整備」にもあるよう、居住地と施設を結ぶ交通インフラの整備を合わせて考えていく必要がある。特に中心部から離れた地域に住む市民も利用しやすい施設にしていく必要がある。
- 「政策」では、市政や都市計画についての要望や意見が多くみられた。  
若者が輝ける環境づくりのための「雇用促進」「企業誘致」、高齢者への支援体制の強化など「福祉・教育の充実」、また、中心部以外の周辺地域の開発への要望もある。
- 滝沢市は20代の転出が多く、大学を卒業した若者が市内に定着したくなるような、魅力ある企業の誘致も合わせて考えていく必要がある。
- 「街づくり」では、滝沢市らしい街づくりと集客できる街づくり、市役所周辺だけでなく広範囲な街づくりをしてほしいという要望がある。
- 「交通整備」では、バス路線の整備、交通公共機関の整備など、中心部と周辺部をつなぐ交通網の整備についての要望が中心である。
- 「道路整備」では、渋滞緩和のための道路の拡幅、歩行者安全のための歩道・通学路の整備、冬期間の除雪対策の要望が中心である。
- 拠点整備とともに、「交通整備」「道路整備」といった交通インフラの整備を並行して行っていくことが切望されている。
- 「自然・文化」では、緑地の整備、自然観光の保護、伝統芸能の継承や芸術振興の要望がある。
- 「その他」では、都市として発展していくことを願う行政への励ましや、市政への意見がある。また、今回のアンケートについての意見もある。
- 少数意見としては、高齢者の交通事故防止のために“店が少ないことや、交通の不便でなかなか思うような生活が送れない高齢者がいるので、そのような地区に移動販売車を設けて欲しい。”などもある。